

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和2年10月29日
村山 章

新型コロナウイルスの感染者数は欧米と東アジアでは歴然とした差があります。かつてソ連崩壊を予測して脚光を浴びたエマニュエル・トッド氏は、その差を欧米に根付く個人主義とリベラルの伝統に対し、東アジアに受け継がれる権威主義、規律重視の伝統という、民族文化に起因する違いであると指摘しています。そして権威主義、規律重視の国では少子高齢化が真の問題だと指摘していました。なるほどな〜と、しみじみ感心しました。考えるという行為は本当に楽しいことですね。

日々の私たちの生活でも「あの人は頭がいい」とか「悪い」とか言います。そもそもの学力、知能も大切ではありますが、まずは皆さん、考える癖をつけましょう。私たちは一人では生きていけませんから色んな組織に所属します。そして色んな人と巡り会い、色んな人と会話をします。周りの人を大切に考え、自分がされて嫌なことは人にしないとか、相手にこう言ったら相手はどう思うだろうか、と深く考えイメージをふくらませることも必要です。神経質に悩んでしまっただけでは駄目ですが、深く考えることができるかどうかで対人関係をスムーズに運ぶための差が生まれると思います。仕事でも、ほかの人にできて自分にできないのは恥ずかしい、どうやったらできるようになれるのだろうかとか、あの先輩は何でも能率よく仕事をこなす、あの先輩のようにになりたい等々、一生懸命に考えることが必要です。現場作業は基本的にはマニュアルに基づいて行いますが、同じ作業をやっても差が出ます。段取りを考えながらテキパキやる人とあまり考えないで始める人との差が出ます。まずは目標を決め、その目標に向かって考えながら挑戦していきましょう。

パスカルによれば人間は「考える葦」だそうです。考えることに人間の偉大さがあるという意味ですが、考えることは私たち人間だけの特権です。深く考える癖をつけることで新しい人生が開けてくるのではないのでしょうか。